

再生増殖制御学セミナー

抗体産生応答におけるリンパ球の相互作用・ 増殖・分化のライブイメージング

講師: 岡田 峰陽 先生

理化学研究所 免疫・アレルギー科学総合研究センター

免疫細胞動態研究ユニット ユニットリーダー

京都大学再生医科学研究所再生増殖制御学分野 非常勤講師

日時: 平成 22 年 3 月 19 日(金) 16:00・

場所: 再生医科学研究所 東館 5F ルーフテラス

< abstract >

リンパ性組織に形成される胚中心は、高親和性抗体の産生や長期免疫にとって、重要な免疫細胞の反応場である。胚中心における主役は、胚中心 B 細胞と濾胞ヘルパー T 細胞と呼ばれる、抗原に反応して増殖・分化した B 細胞と T 細胞である。最近、抗原に反応する B 細胞と T 細胞の長期接合が、これらの細胞の分化と胚中心形成にとって、必須であることが明らかとなってきた。長期接合の分子基盤や、長期接合と細胞増殖の関係、さらには同じ転写因子 Bcl6 がマスターレギュレーターとして働く、胚中心 B 細胞と濾胞ヘルパー T 細胞の分化の間の相互の要求性について、二光子顕微鏡を用いたライブイメージングデータを示しながら議論する。

主 催: 京都大学再生医科学研究所

連絡先: 再生医科学研究所

再生増殖制御学分野 (瀬原) Tel: 751-3826

後 援: 京都大学グローバル COE 「生命原理の解明を基とする医学研究教育拠点」

